

記入例

同志社大学特別任用助教（有期研究員）・特別任用助手（有期研究員）申請書

同志社大学長		2026年 7月 1日
フリガナ	ドウシシャ タロウ	
氏 名	同志社 太郎	
生 年 月 日	(西暦) 2000 年 1 月 1 日	
② 学位取得年月 (取得、取得見込に○をつけること)	[学 位] 博士 (××学) (同志社大学) 取得 ・ 取得見込 [取得 (見込) 年月] 2027 年 3 月	①申請者記入欄
修了 (予定) 研究科	(×××) 研究科	
③ 現 住 所	〒602-8580 京都府京都市上京区×××-××× 電話番号 ××××-××××-×××× Eメール ××××@mail.x.doshisha.ac.jp	
④ 申請する職名に○ 申請しない職名に×	○ 特別任用助教 (有期研究員) ○ 特別任用助手 (有期研究員)	
同志社大学特別任用助教 (有期研究員) 申請者は下記を記入		
⑤ 日本学術振興会特別研究員 (DC1, DC2) の期間	2025 年 4 月 1 日 ~ 2027 年 3 月 31 日	

受入予定学部承諾欄 ※「受入予定学部承諾欄」は、特別任用助教 (有期研究員) 申請者の場合のみ記入
上記の者が、同志社大学 特別任用助教 (有期研究員) として採用された場合、受入予定学部において
科目を担当すること (週1~2コマ) を承諾します。

⑥受入予定学部記入欄

受入予定学部長の 承諾 (自筆署名)	××× 学部長 氏名 ××× ×××
-----------------------	--------------------

研究科長推薦欄 (該当する職名を○で囲んで下さい)

上記の者を、同志社大学 (特別任用助教 (有期研究員)・特別任用助手 (有期研究員) 候補者として、
推薦します。

⑦出身研究科記入欄

研究科長の推薦 (自筆署名)	××× 研究科長 氏名 ××× ×××
-------------------	---------------------

受入予定学部事務室・事務長確認事項 ※下記に確認の上で受入予定学部事務室受付印の押印をお願いします。

- 同志社大学特別任用助教 (有期研究員) (以下「特任助教」という。) 及び同志社大学特別任用助手 (有期研究員) (以下「特任助手」という。) の任用は、リサーチ・イノベーション推進機構人事委員会 (例年1月) において候補者を決定し、その後、受入予定学部での審議を経て、部員会 (例年3月) で最終審議いたします。
- 特任助教及び特任助手は、リサーチ・イノベーション推進機構及び学部の所属となります (「同志社大学特別任用助教 (有期研究員) 任用規程」第5条、 「同志社大学特別任用助手 (有期研究員) 任用規程」第5条)。
- 受入申請があった学部においては、当該申請者が任用候補者となった場合に受入れに係る審議を要することを踏まえ、右欄に受付印を押印ください。
- 特任助教は、本学で授業を担当 (1週4時間以内) する必要があります (「同志社大学特別任用助教 (有期研究員) 任用規程」第3条第2項)。
- 特任助教の受入申請があった学部においては、当該申請者が採用された場合の担当授業科目について、あらかじめ調整、準備いただきますよう、お願いいたします。

受入予定学部事務室 受付印

⑧受入予定学部事務室 受付印欄



記入上の注意 ※記入例に記載の番号と対応

＜同志社大学特別任用助教（有期研究員）、同志社大学特別任用助手（有期研究員）共通＞

- ① 申請者記入欄はワードでの入力も可能。直接記入する場合は、黒色のボールペンで記入する事 (鉛筆やシャープペンシル等、消せるものは不可)。
- ② 学位取得年月記入欄は、自身の状況により取得・取得見込みのどちらかに○をつけ、学位取得もしくは取得見込年月を記入すること。
- ③ 電話番号は、日中連絡がつく連絡先を記入すること。
- ④ 申請する職名に○、申請しない職名に×を付けること。
特任助教の申請資格のあるものは、特任助手も併願可能である。
- ⑦ 特任助教・特任助手申請には出身研究科長の推薦が必要となる。所属研究科事務室へ「研究科長推薦欄」の記入 (研究科長の自筆署名) について依頼すること。
- ⑧ 特任助教及び特任助手は、申請者が任用候補者となった場合には、受入予定学部事務室において、科目担当にかかる諸手続き (特任助教のみ) や、学部の所属とするための審議手続き (特任助教及び特任助手) が必要となるため、予め受入学部事務室に対し、「受入予定学部事務室・事務長確認事項」欄を確認のうえ「受入予定学部事務室受付印」に押印をするよう依頼すること。

＜同志社大学特別任用助教（有期研究員）のみ対象＞

- ⑤ 日本学術振興会特別研究員 (DC) の採用期間を必ず記入すること。
- ⑥ 特任助教申請者は採用された場合、科目を担当することになる。

受入予定学部で科目担当について承諾を得て、「受入予定学部長の承諾」に
学部長の自筆署名をもらう事。研究科科目の担当はできないので注意すること。

提出に関する注意

- ・次項「申請書提出前チェックリスト」を適宜利用し、申請書に不備が無い状態で各校地の提出先へ申請期間中に持参し、提出すること。
- ・募集要項記載の締切はリサーチ・イノベーション推進機構への提出締切である。受入予定学部承諾欄・研究科長推薦欄記入には時間を要する可能性もあるので、余裕を持って申請すること。

<申請書提出前チェックリスト>

申請者は研究マネジメント課へ提出する前に、提出書類に不備が無いかチェックをお願いします。
本リストは提出不要です。

▼特別任用助教（有期研究員）申請者 ※特別任用助手（有期研究員）との併願申請者も含む

- ☐ 特別任用助教（有期研究員）に採用された場合は、次年度に受入予定学部の授業を担当する旨、受入予定学部に相談済である。
- ☐ 申請書に記載の受入予定学部承諾欄に受入予定学部長の自筆署名がある。
- ☐ 日本学術振興会特別研究員（DC1, DC2）の期間を記入している。
- ☐ 「令和9（2027）年度日本学術振興会特別研究員（PD）申請書（写）」を添付している。
- ☐ 「令和9（2027）年度日本学術振興会特別研究員（PD）申請書の版数は、1.0版以上である。
※右上記載の版数について、提出前の申請書だと0版になります。
1.0番以上を添付してください。
- ☐ 研究科長推薦欄に研究科長の自筆署名、受入予定学部事務室受付印に押印がある。

▼特別任用助手（有期研究員）申請者

- ☐ 「令和9（2027）年度日本学術振興会特別研究員（PD）申請書（写）」を添付している。
- ☐ 「令和9（2027）年度日本学術振興会特別研究員（PD）申請書の版数は、1.0版以上である。
※右上記載の版数について、提出前の申請書だと0版になります。1.0番以上を添付してください。
- ☐ 研究科長推薦欄に研究科長の自筆署名、受入予定学部事務室受付印に押印がある。